

## つきたい力

- 各教科の授業と学校図書館と連携し、様々な書物を読み込み、考えを深める**思考力**
- 自ら学んだことをプレゼンテーションなどの場面を通じて、主体的に発信する**表現力**
- ネットなどのメディア情報に対して、学校図書館を活用しながら、正しく見極める**判断力**

## 取組みの概要・ポイント

- まずは「教職員」が学校図書館活用を学ぶため、研修等を行い、学んだことを生徒に還元できるよう取り組んだ。
- 学校図書館を開かれた空間にするべく、掲示物や通信等を活用しながら、生徒の興味を引くよう工夫した。

## 具体的な取組みの内容

### 学校図書館を活用した授業づくり

#### 年間授業計画

年度当初、全学年全教科において学校図書館を活用した授業を計画。「学校図書館年間計画」の書類作成とともに、職員室内にも同じような年間計画の大きな表を掲示し、GTM授業への意識を全教職員で高めた。



#### 夏期校内研修「ミニ調べる学習体験」

課題に向かう生徒自身がワクワクすることや学びの楽しい道りを経験することで、「主体的に学ぶ姿勢へとつながる」ということを、今回の研修では実際に生徒の立場にたち、実感することができた。

#### 歴史の総復習 本とネットで調べ学習（2年社会科）



本とタブレットを併用させ、それぞれの良さを考えさせながら、歴史上の人物についての調べ学習を実施した。豊富な情報の中から本当に必要なものを選び取らせつつ、どのようにまとめると読み手がわかりやすいか、どのような見出しにすると読み手を引き付けられるか等、考え、表現する力も養われた。

学校図書館を活用した授業づくりの  
くわしい様子は、右のQRコードへ  
アクセスください。



### 本に親しむ場づくり

#### 居心地のいい学校図書館づくり

新着図書コーナーを中心に、季節感のあるデコレーションやレイアウトに工夫を凝らし、子どもたちの興味をより引くように努めている。新聞コーナーは各学年フロアや職員室前など、さまざまな場に設置されており、子どもたちが情報をいつでも得られるようになっている。



#### 「図書館行こう！」につながるしかけ

各学年フロアでは、さまざまな授業にかかわる書籍を学校図書館から出張させ、展示している。「こんな本も図書館にあるんだ！」という子どもたちの気づきや、来館につながっている。また、新着図書は図書だよりでの紹介だけでなく、大きなカラーポスターで廊下掲示も合わせて行っている。



#### 学びのつまった図書館づくり

家庭学習を促すための参考書や、漢検・英検の問題集コーナーに加え、入口すぐの場所には、郷土コーナーとして大東市の歴史等がわかる書籍・冊子・パンフレットなどを揃えたブースを設置した。



大東市内の学校図書館の  
ようすはこちらから⇒



GTM校学校公開の  
ようすはこちらから⇒



## 取組みを通しての子どもの変容

学校図書館活用に関する生徒アンケート結果（12月現在）は、すべてR4年度当初の現状値よりポイントアップしており、特に大きな変化としては、「わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている」（74%→89.5%）、「本やインターネットなどで調べたことをもとに、自分の考えをまとめて書いたり、話したりしている」（24%→70.6%）などが挙げられる。また学校図書館の本の貸出冊数を昨年度と比較してみると、今年度は1300冊増加（4～12月の比較）。開館時間の拡大や、学校図書館内のコーナーの充実、授業での書籍活用の成果があらわれた。今後も、たくさん子どもたちに利用され、活用される学校図書館をめざしたい。